

2023年3月改訂版

子宮けいがんワクチンについて知ってください

すべてのワクチンの接種には、効果とリスクがあります。

まずは、子宮けいがんと子宮けいがんワクチン、子宮けいがん検診について知ってください。
周りの人とお話ししてみたり、かかりつけ医などに相談することもできます。

子宮けいがんワクチンを受けることを希望する場合は

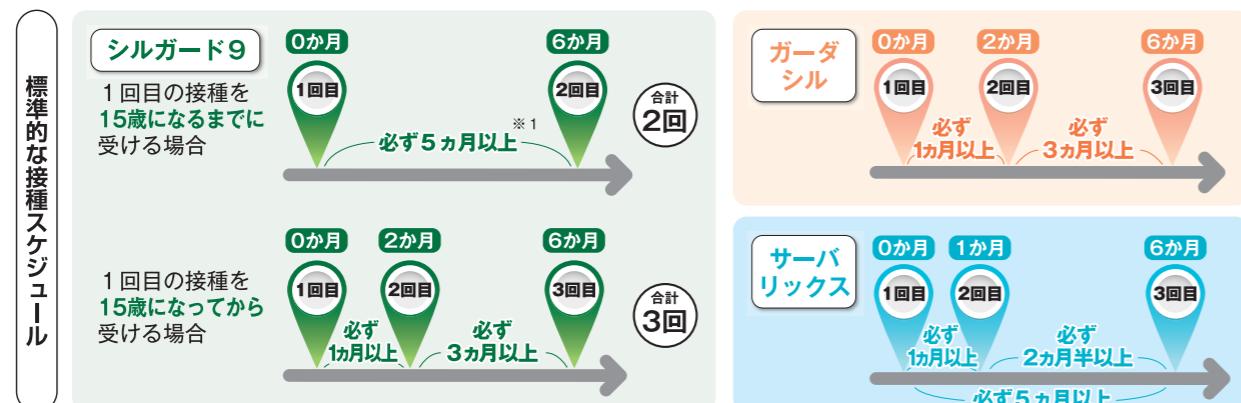


詳細版
P4.8

小学校6年～高校1年相当の女の子は、子宮けいがんワクチンを無料で受けられます。

病院や診療所で相談し、どれか1種類を接種します。ワクチンの種類や接種する年齢によって、接種の回数や間隔が少し異なりますが、いずれのワクチンも、半年～1年の間に決められた回数、接種します。

16歳未満が接種を受ける場合には、保護者の同意が必要です。



3種類いずれも、1年以内に接種を終えることが望ましい。(図中の矢印は、規定の接種間隔を表しています)
※1回目と2回目の接種が5ヶ月未満である場合、3回目の接種が必要となります。

子宮けいがんワクチンについて、もっと詳しく知りたい方は

このご案内の内容をもっと詳しく説明している

「子宮けいがんワクチンについて知ってください(詳細版)」や、
その他のご案内をご覧ください。

子宮けいがんワクチンに関するよくあるご質問(Q&A)については、
こちらをご確認ください。



概要版

詳しく知りたい方向けの詳細版もあります。

小学校6年～高校1年相当の女の子と
保護者の方へ大切なお知らせ

*サーバリックス(2価)・
ガーダシル(4価)ワクチン
に加え、シルガード9(9価)
ワクチンも令和5年4月から
無料で接種を受けられる
ようになりました



子宮けいがん(HPV)ワクチンについて知ってください ～あなたと関係のある“がん”があります～

✿春日井市からのお知らせ✿

- 春日井市では、標準的な接種時期である中学1年生となる時に接種券を発送いたします。このリーフレットやホームページなどにより、接種の効果や副反応等について十分ご理解いただいたうえで、早めの接種をご希望の際は市ホームページから「接種券申し込み・お問い合わせフォーム」にアクセスあるいはご連絡ください。
- 市が指定する医療機関以外で接種を受ける場合は、「市外で接種を希望される方へ」ページをご確認ください。
- 接種したことにより、医療機関での治療が必要となった、生活に支障が出るような障害が残ったなど、健康被害が生じた場合は、法律に基づく救済が受けられます。(予防接種健康被害救済制度)

《お問い合わせ先》春日井市健康増進課 予防担当
電話番号 (0568)85-6168

厚生労働省「概要版」リーフレットを基に作成

ウイルス感染でおこる子宮けいがん

詳細版
P2~3

「がんってたばこでなるんでしょう？」
「オトナがなるものだから私は関係ない」って思っていませんか？
実はウイルスの感染がきっかけでおこる“がん”もあります。その1つが子宮けいがんです。

HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染が原因と考えられています。
このウイルスは、女性の多くが“一生に一度は感染する”といわれるウイルスです*。
感染しても、ほとんどの人ではウイルスが自然に消えますが、
一部の人でがんになってしまうことがあります。

現在、感染した後にどのような人ががんになるのかわかっていないため、
感染を防ぐことががんにならないための手段です。

* HPVは一度でも性的接觸の経験があればだれでも感染する可能性があります。



女性の多くがHPV(ヒトパピローマウイルス)に
“一生に一度は感染する”といわれる

がんに
なる場合も

感染を防ぐこと
がんにならないための手段

<何人くらいが子宮けいがんになるの?>

日本では毎年、約1.1万人の女性が子宮けいがんになり、毎年、約2,900人の女性が亡くなっています。
患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう(妊娠できなくなってしまう)人も、1年間に約1,000人います。

<一生のうち子宮けいがんになる人>

1万人あたり132人

つまりこれってどのくらい?

2クラスに1人くらい



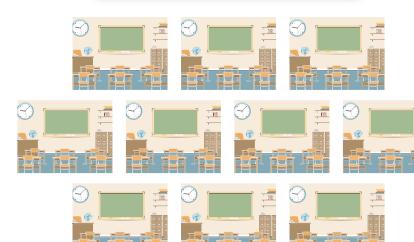
1クラス約35人の女子クラスとして換算



<子宮けいがんで亡くなる人>

1万人あたり34人

10クラスに1人くらい



出典 国立がん研究センター がん情報サービス 2019年全国推計値に基づく累積罹患リスク、2021年累積死亡リスク、2021年人口動態統計がん死亡データより

子宮けいがんワクチンの効果

詳細版
P4

HPVの中には子宮けいがんをおこしやすい種類(型)のも
のがあります。子宮けいがんワクチンは、このうち一部の感
染を防ぐことができます。

現在日本において受けられるワクチンは、防ぐことができる
HPVの種類によって、サーバリックス(2価ワクチン)、
ガーダシル(4価ワクチン)、シルガード9(9価ワクチン)
の3種類あります。

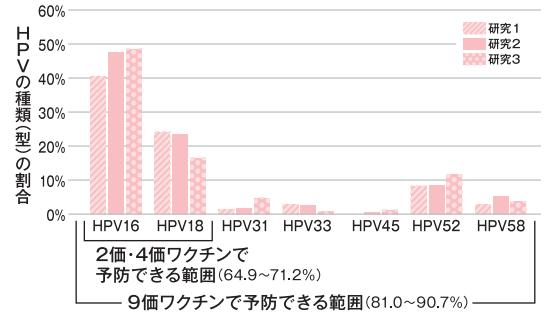
サーバリックスおよびガーダシルは、子宮けいがんをおこ
しやすい種類であるHPV16型と18型の感染を防ぐことが
できます。そのことにより、子宮けいがんの原因の50～
70%を防ぎます*1。シルガード9は、HPV16型と18型に加え、ほかの5種類*2のHPVの感染も防ぐため、子宮けいがんの原因
の80～90%を防ぎます*3。

また、子宮けいがんワクチンで、がんになる手前の状態(前がん病変)が減るとともに、がんそのものを予防する効果がある
こともわかってきています。

*1・3 HPV16型と18型が子宮けいがんの原因の50～70%を占め(*1)、HPV31型、33型、45型、52型、58型まで含めると、子宮けいがんの原因の80～90%を占めます(*3)。

*2 HPV31型、33型、45型、52型、58型

<日本人女性の子宮けいがんにおける HPVの種類(型)の割合と、ワクチンで予防できる範囲>



*9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート(国立感染症研究所)をもとに作成
研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7):1312-1316.
研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10):910-917.
研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6:46-51.

9価ヒトパピローマウイルス(HPV)ワクチン ファクトシート(国立感染症研究所)をもとに作成
研究1: Onuki, M., et al. (2009). Cancer Sci 100(7):1312-1316.
研究2: Azuma, Y., et al. (2014). Jpn J Clin Oncol 44(10):910-917.
研究3: Sakamoto, J., et al. (2018). Papillomavirus Res 6:46-51.

子宮けいがんワクチンのリスク

詳細版
P5

筋肉注射という方法で注射します。接種を受けた部分の痛みや腫れ、赤みなどの症状*1が起こることがあります。

ワクチンの接種を受けた後に、まれですが、重い症状*1が起こることがあります。

また、広い範囲の痛み、手足の動かしにくさ、不随意運動*2といった多様な症状が報告されています。

ワクチンが原因となったものかどうかわからないものをふくめて、

接種後に重篤な症状*3として報告があったのは、ワクチンを受けた1万人あたり約5～7人*4です。

接種するワクチンや年齢によって、合計2回または3回接種しますが、

接種した際に気になる症状が現れたら、それ以降の接種をやめることができます。

接種後に気になる症状が出たときは、まずはお医者さんや周りの大人に相談してください*5。

*1 重いアレルギー症状(呼吸困難やじんましんなど)や神経系の症状(手足の力が入りにくい、頭痛、嘔吐・意識の低下)

*2 動かそうと思っていないのに体の一部が勝手に動いてしまうこと

*3 重篤な症状には、入院相当以上の症状などがふくまれていますが、報告した医師や企業の判断によるため、必ずしも重篤でないものも重篤として報告されることがあります。

*4 サーバリックスおよびガーダシルは約5人、シルガード9は約7人

*5 子宮けいがんワクチン接種後に生じた症状の診療を行う協力医療機関をお住まいの都道府県ごとに設置しています。

子宮けいがんで苦しまないために、できることが2つあります

詳細版
P7

①今からできること

日本では、小学校6年～高校1年相当の女の子を対象に、
子宮けいがんの原因となるHPVの感染を防ぐ
ワクチンの接種を提供しています。
HPVの感染を防ぐことで、
将来の子宮けいがんを予防できると
期待されています。
カナダ、イギリス、オーストラリアなどでは
女の子の8割以上がワクチンを受けています。



②20歳になったらできること

子宮けいがんワクチンを受けていても、
子宮けいがん検診は必要です。
2年に1度
検診を受けることが
大切です。

